

市議会議員  
かけのまち子  
電話/Fax 53-7727  
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員  
みわ 陽子  
電話/Fax 54-6712  
yokko0520mi@yahoo.co.jp



No.596 2026.6.25  
日本共産党江南市委員会

あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753  
元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

\* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP 検索 ←

6月議会  
一般質問

# 中学校グラウンドの砂じん対策を

「洗濯物を外に干せない、窓も開けられない」古知野中学校周辺の市民からグラウンドの砂じん対策を求める強い要望と、訴えて続けても一向に改善されず「我慢も限界」との声が市政アンケートに寄せられました。近隣の皆さんから聞き取り調査をしたところ、特に夜間、3日連続でグラウンドを利用し、散水に非協力的なサッカー教室への苦情が共通していました。

これらの声をもとに、夜間にグラウンドを使用するサッカー教室経営者や中学校に対し、更なる配慮と対策を求めました。根本的には飛びにくい土への入れ替えが必要で、予算措置を講ずるよう求めました。

「学校や夜間利用者には、スプリンクラーを適切に使用する配慮を繰り返しお願いする。防砂ネットの延長などの対策や夜間開放を行う頻度も検討していく。

土の入れ替えは予算要求しているが、約 8,400 万円と非常に高額なため、困難な状況である」との

答弁にとどまりました。

二重に張られた防砂ネットでも効果が限定な古中グラウンド周辺



かけのまち子議員

## 曾本工業用地の3カ所で産廃を確認。地権者処理が原則。市費での肩代わりNO！

開発予定区域の3カ所から産廃埋設物が見つかり、うち1カ所は有害物質による土壌汚染も確認されました。これらの箇所を開発区域から除外せず、現計画のまま、県企業庁の第2次審査会での承認に向け進むのかどうか、市の方針を質しました。産廃の搬出処分費用を市が地権者に代わって負担することは認められないと追及しました。

「廃棄物の埋設が確認された土地の地権者に、廃棄物を撤去してもらうのが原則だが、高額な費用が見込まれ、売買の同意が取得できるかなどの課題がある。現計画を進めるために、撤去費用を市費で負担することは慎重な判断が必要」とのあいまいな答弁に終始しました。

一般質問は6月15日午後  
の1番目がみわ議員、2番  
目がかけの議員。市議会HP  
やYouTubeでご覧いただけ  
ます。



# 資源ごみを出しやすく

資源ごみ立ち当番の負担を減らして欲しいとのアンケートの声に応じて質問しました。

5月に開催された「廃棄物減量等推進協議会」を傍聴したところ、資源ごみ回収を月1回に減らす議論が行われていたので、市の方針について質しました。

「新ごみ処理施設の供用開始時期を目途に、プラスチック容器包装類と廃プラの一部を『資源プラ』として路線回収し、立ち当番の負担軽減を図るよう検討を進めている」との答弁でした。

また、ふれあい収集の要件が「一人暮らしで要介護の人や障害のある人」と厳しすぎるため、必要な人が誰でも利用できるように要件の緩和を求めました。

「120世帯まで対応可能なところ、今利用しているのは71世帯。困っている人は、環境事業センターに相談すれば、職員が実情を聞き取り、必要と認めれば利用できる」との答弁でした。



## 今どき、黙掃？

黙掃(無言清掃)を行っている学校が市内に中学校1校、小学校5校あることが分かりました。

しかし、掃除は協働作業で、コミュニケーションを取りながら行った方が能率は良いのではないかと教育委員会の考えを聞きました。

「何をすべきか考えて目の前の汚れに集中し、効率よく行うのが黙掃で心を磨く清掃と言われている。

学校をきれいにし、物を大切にする心を育む時間で、健全な生活習慣を育成する指導のひとつとして、学校のやり方を尊重したい」という古めかしい答弁でした。



みわ 陽子議員



**ふれあい収集** : 資源ごみを玄関先で収集要件に当てはまらないとあきらめるのではなく、資源ごみを出すのが困難な人はぜひ相談してください。\*環境事業センター 電話 56-4436